

# 令和5年度 学校経営方針

校長 三橋 一晃

## 1 教育目標

ー 力いっぱいがんばろう ー

- ・進んで学ぶ子
- ・思いやりのある子
- ・元気な子

## 2 努力目標

- ・しっかり聞き、じっくり考え、きちんと話す子に育てる。
- ・周囲に感謝し、思いやりのある言葉遣いと行動ができる子に育てる。
- ・運動を好み、食と健康を考える子に育てる。

## 3 めざす学校像

郷土に誇りを持ち、力いっぱいがんばる南小っ子の育成をめざして

～ 「子どもたちの育ちが地域に誇れる学校」の実現のために ～

(児童にとって) この学校で学べてよかった

(保護者・地域にとって) この学校で学ばせてよかった、わが地域の学校

(職員にとって) この学校で指導できてよかった

### [具体像]

(1) 子どもは、

☆自他のよさに気付き、互いによさを発揮し合いながら学び合う子ども

- ・よく聞き、よく考え、表現のできる子
- ・素直で明るく、思いやりのある子
- ・心身ともに健やかで、自分の健康や安全に心がける子

(2) 教職員は、

☆専門性やよさを発揮し合いながら組織として協働する教職員

- ・一人一人の子どもを大切にし、その成長を信じる教師
- ・資質の向上のため、研修に努める教師
- ・児童、保護者と地域に信頼される教師

(3) 学校は、

☆学校・保護者・地域住民が協働する学校

- ・教職員、保護者、地域が共に子どもを育てる学校
- ・生き生きと活動し、活気あふれる学校
- ・子どもたちの「いのち」を大切にする学校

#### 4 教育課題

- ・問題行動・不登校等の未然防止、早期発見・早期対応…家庭や地域・関係機関等と連携しながら、心の結びつきを基調とした指導を行う。
- ・基礎的基本的な知識・技能の習得と学習意欲の向上…A I ドリルの導入に伴い、これまで以上に1人1台端末の積極的・効果的活用に取り組む。
- ・自分の生まれ育った郷土に対する愛着と誇りの涵養…郷土を愛する心を育む指導の充実を図る。

#### 5 今年度の重点目標

郷土に誇りを持ち、学校を楽しみと思える児童の育成

##### (1) 知：「進んで学ぶ子」の育成

###### ①問いをもたせる指導の工夫

(導入や発問の工夫)

###### ②積極的に伝え合い、考えが深まる場の設定

(話し合いの設定の工夫、ノート指導、「確かな学力」向上プラン)

###### ③1人1台端末の積極的・効果的な活用

(A I ドリル、調べ学習、グループ作業、プログラミング学習)

##### (2) 徳：「思いやりのある子」の育成

###### ①「自己有用感」「自己効力感」の高揚

(係活動、日直活動、委員会活動、縦割り班活動、家庭でのお手伝い等)

###### ②道徳の授業の充実

(「対話」を取り入れた学習過程の工夫、児童の成長を見取る評価の工夫)

###### ③居心地の良い学校

(南小や地域への誇り、子どもが安心できる「居場所」としての学校)

##### (3) 体：「元気な子」の育成

###### ①感染予防の徹底と健康的な生活習慣の確立

(検温、手洗い、うがい、マスク着用、話し方、遊び方等)

###### ②めあてを決めて取り組む体力づくり

(「いきいきタイム」でのマラソン・なわとび、グラウンドでの遊び)

# 学校経営方針

## 1 教育目標

- ・進んで学習する子
- ・思いやりのある子
- ・たくましい子

## 2 努力目標

- ・自分で考え、進んで表現する子になろう
- ・自分の行動に責任をもち、やさしい子になろう
- ・心も体も進んできたえる子になろう

## 3 めざす学校像

(児童にとって) 学んでよかった学校、  
(保護者にとって) 学ばせてよかった、  
(地域の人々にとって) わが地域の学校  
～子どもたちの育ちが地域に誇れる学校～

### [具体像]

#### (1) 子どもは、

- ☆自他のよさに気付き、互いによさを発揮し合いながら学び合う子ども
  - ・感性豊かで、表現力のある子
  - ・素直で明るく、思いやりのある子
  - ・努力し、自分の力をみんなの役に立てる子
  - ・心身ともに健やかで、自分の健康や安全に心がける子

#### (2) 教職員は、

- ☆専門性やよさを発揮し合いながら組織として協働する教職員
  - ・一人一人の子どもを大切にし、その成長を信じる教師
  - ・資質の向上のため、研修に努める教師
  - ・コミュニケーションを円滑に行い、協働する教師
  - ・児童、保護者と地域に信頼される教師

#### (3) 学校は、

- ☆学校・保護者・地域住民が協働する学校
  - ・教職員、保護者、地域が共に子どもを育てる学校
  - ・生き生きと活動し、活気あふれる学校
  - ・環境が整備され、美しい学校
  - ・子どもたちの「いのち」を大切にする学校
    - ※「守るいのち」「輝くいのち」「支え合ういのち」

#### 4 学校課題

確かな学力 豊かな人間性 たくましく生きるための健康・体力

#### 5 今年度の重点目標

問いをもち、よさを生かしともに学ぶ子の育成
-----------------------

##### (1) 知：「自分で考え、進んで表現する子」の育成

①問いをもたせる指導の工夫（導入の工夫）

②伝え合い考えが深まる場の設定

（ペアやグループ等による話し合い、ノート指導、学力向上プラン）

##### (2) 徳：「自分の行動に責任をもち、やさしい子」の育成

①助け合って取り組む「係活動」「当番活動」「委員会活動」「縦割り活動」と家庭での「お手伝い」 → 『自己有用感』を育成し自尊感情を高める

②笑顔で生活できる学級経営

（学級づくり11か条、話し合い活動、副読本の活用による道徳の時間の確保）

##### (3) 体：「心も体も進んできたえる子」の育成

①基本的な生活習慣（『目で聞く』『目を見て話す』、あいさつ、返事、ありがとう）と家庭学習習慣の推進

②めあてを決めて取り組む体力づくり（マラソン、なわとび、青空タイム）

#### 6 学校経営の基本方針

一人一人の子どもの可能性を信じ引き出し、知（確かな学力）・徳（豊かな心）・体（健やかな体）の調和のとれた人間性豊かな子どもの育成を目指す。「教育は人づくり」という視点に立ち、職員一人一人のよさを生かしながら、積極的に創造的な教育実践に努め、子どもが楽しいと感じる学校、教職員が組織として共に働くことの喜びや働きがいを感じることでできる学校づくりに努める。

#### 7 経営の方針

##### (1) 授業を大切にす学校

子どもたちの学校生活の大半は教科の授業であり、教師もまた授業の中で子どもを育てているのである。したがって、教師として資質の向上こそ私たちが求められていることである。子ども一人一人のよさを大切にし、思いや願いを生かして「課題を意識する場、協働的に学ぶ場、学びを生かす場」の3つの場を意図的に取り入れた授業づくりを目指していきたい。そのためには、子どもたちの実態をとらえ、既習事項を生かしながら、自ら考え調べる時間を確保したい。そのことによって多様な考えをもたせ、互いのよさを生かす授業づくりをし、「何を知っているか」そして「知っていることを使い、どう学ぶか」という授業づくりを進める。

##### (2) 創意と活力に満ちた教育実践をする学校

地域の多様な教育資源の活用による地方創生が求められている。総合的な学習の時間を中心とし、学校での係活動、委員会活動、清掃活動、勤労生産的な活動や地域のよさや地域の方々の支援を得ながら、体験を通して子どもが喜び育つ教育実践を行う。特に、地域の人々や自然、文化にふれ、地域のよさに気付き、ふるさとを愛する心を育む教育活動の工夫をする。

### (3) 一人一人のよさを輝かせる学校

全ての子どもにはよさがある。子どもの成長を信じ育て、それを発揮する場が必要である。そのために、教職員は多面的、共感的、肯定的に見て「認める」「励ます」「誉める」ことで自己有用感さらには自尊感情を高め自信をもたせることで、努力する子どもを育てたい。その力を人々に役立てていくことで、子どもたちを将来にわたって幸せにしていきたい。

### (4) 家庭、地域と共に子どもを育てる学校

学校、家庭、地域が理解し合い、協力する人々の中で子どもたちは成長するのである。学校の願いを発信すると共に家庭や地域の思いや願いにも耳を傾けたい。

また、「教職員一人一人が全児童の担任」という考え方に立ち、教職員間の多様なコミュニケーションを円滑に行い、子どもの可能性やよさを語り、組織として子どもの指導に努める。

#### 《五所川原市教育基本目標》

ふるさとを愛し、ふるさとの文化を育む心豊かでたくましい人づくり

#### 《五所川原市教育指導の方針》

個を生かし生きる力と夢を育む魅力ある学校教育の推進

#### 《めざす子ども像》

知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな児童生徒

#### 《五所川原市学校教育の課題》

豊かな心の育成と確かな学力の向上⇔教職員の資質能力の向上

## 8 学校教育指導の方針

郷土に誇りをもち、多様性を尊重し、創造力豊かで、新しい時代を主体的に切り拓く児童生徒を育成するため、教育は人づくりという視点に立って、学校運営に創意工夫をこらし、個を生かし生きる力と夢を育む魅力ある学校教育の推進に努める。

## 9 学校教育指導の重点

### (1) 授業の充実

一人一人の子どもが、主体的・対話的で深い学びを通して、「確かな学力」を確実に身につけることができるよう、アクティブ・ラーニングの視点からの不断の授業改善に努める。

### (2) 生徒指導の充実

一人一人の子どもが、豊かな生活を送ることができるよう、全教職員が一致協力し

て、家庭、地域、関係機関等との連携及び学校間の連携を図りながら、心の結びつきを基調とした生徒指導の充実に努める。

(3) 道徳教育の充実

一人一人の子どもが、豊かな心をもつことができるよう、教育活動全体を通して、よりよく生きる基盤となる道徳性を養う道徳教育の充実に努める。

(4) 特別活動の充実

一人一人の子どもが、望ましい集団や体験の中で、協力してよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を身につけることができるよう特別活動の充実に努める。

(5) 体育・健康教育の充実

一人一人の子どもが、生涯にわたり自ら進んで運動に親しみ、健康・安全で活力ある生活を送ることができるよう、家庭や地域社会との連携を図りながら、心と体を鍛える体育・健康教育の充実に努める。

(6) 特別支援教育の充実

発達障害を含む障害のある子どもが、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するとともに、そのもてる力を最大限に発揮して自立や社会参加ができるよう、一人一人の教育ニーズを把握し、適切な指導及び必要な支援に努める。

(7) キャリア教育の推進

一人一人の子どもが、自らの生き方を考え、社会的・職業的な自立ができるよう、発達の段階に応じた指導を通して、将来を見つめるキャリア教育の推進に努める。

(8) 総合的な学習の時間の充実

一人一人の子どもが、多様なものの考え方や学び方を身につけ、よりよく問題を解決することができるよう、探究的、協同的に学ぶ学習を進め、総合的な学習の時間の充実に努める。

(9) 情報化に対応する教育の推進

一人一人の子どもが、必要に応じて情報を選択し、適切に活用する能力を身につけることができるよう、情報モラルに関わる指導の充実に努めながら、情報教育の推進に努める。

(10) 国際化に対応する教育の推進

一人一人の子どもが、我が国や諸外国の文化や伝統について理解を深めることができるよう、国際理解教育の推進に努める。

(11) 環境教育の推進

一人一人の子どもが、環境と人間の関わりについて関心と理解を深め、環境に対する豊かな感受性を養うことができるよう、環境教育の推進に努める。

(12) 研修の充実

教職員として資質能力を高め、自校の教育課題を解決するために、組織的、主体的、実質的な研修・研究の充実に努める。

# 学校経営方針

## 1 教育目標

- ・進んで学習する子
- ・思いやりのある子
- ・たくましい子

## 2 努力目標

- ・自分で考え、進んで表現する子になろう
- ・自分の行動に責任をもち、やさしい子になろう
- ・心も体も進んできたえる子になろう

## 3 めざす学校像

(児童にとって) 学んでよかった学校、  
(保護者にとって) 学ばせてよかった、  
(地域の人々にとって) わが地域の学校  
～子どもたちの育ちが地域に誇れる学校～

### [具体像]

#### (1) 子どもは、

- ☆自他のよさに気付き、互いによさを発揮し合いながら学び合う子ども
  - ・感性豊かで、表現力のある子
  - ・素直で明るく、思いやりのある子
  - ・努力し、自分の力をみんなの役に立てる子
  - ・心身ともに健やかで、自分の健康や安全に心がける子

#### (2) 教職員は、

- ☆専門性やよさを発揮し合いながら組織として協働する教職員
  - ・一人一人の子どもを大切にし、その成長を信じる教師
  - ・資質の向上のため、研修に努める教師
  - ・コミュニケーションを円滑に行い、協働する教師
  - ・児童、保護者と地域に信頼される教師

#### (3) 学校は、

- ☆学校・保護者・地域住民が協働する学校
  - ・教職員、保護者、地域が共に子どもを育てる学校
  - ・生き生きと活動し、活気あふれる学校
  - ・環境が整備され、美しい学校
  - ・子どもたちの「いのち」を大切にする学校
    - ※「守るいのち」「輝くいのち」「支え合ういのち」

#### 4 学校課題

確かな学力 豊かな人間性 たくましく生きるための健康・体力

#### 5 今年度の重点目標

問いをもち、よさを生かしともに学ぶ子の育成
-----------------------

##### (1) 知：「よさを生かし学び合う子」の育成

①問いをもたせる指導の工夫（導入の工夫）

②伝え合い考えが深まる場の設定

（ペア等による話し合い、ノート指導、チャレンジタイム）

##### (2) 徳：「互いに助け合う子」の育成

①助け合って取り組む「係活動」「当番活動」「委員会活動」「縦割り活動」、家庭での「お手伝い」 → 『自己有用感』を育成し自尊感情を高める

②笑顔で生活できる学級経営

（学級づくり11か条、話し合い活動、副読本の活用による道徳の時間の確保）

##### (3) 体：「健康にくらす子」の育成

①基本的な生活習慣（『目で聞く』『目を見て話す』、あいさつ、返事、ありがとう）と家庭学習習慣の推進

②めあてを決めて取り組む体力づくり（マラソン、なわとび、青空タイム）

#### 6 学校経営の基本方針

一人一人の子どもの可能性を信じ引き出し、知（確かな学力）・徳（豊かな心）・体（健やかな体）の調和のとれた人間性豊かな子どもの育成を目指す。「教育は人づくり」という視点に立ち、職員一人一人のよさを生かしながら、積極的に創造的な教育実践に努め、子どもが楽しいと感じる学校、教職員が組織として共に働くことの喜びや働きがいを感じることでできる学校づくりに努める。

#### 7 経営の方針

##### (1) 授業を大切にしている学校

子どもたちの学校生活の大半は教科の授業であり、教師もまた授業の中で子どもを育てているのである。したがって、教師として資質の向上こそ私たちが求められていることである。子ども一人一人のよさを大切にし、思いや願いを生かして「課題を意識する場、協働的に学ぶ場、学びを生かす場」の3つの場を意図的に取り入れた授業づくりを目指していきたい。そのためには、子どもたちの実態をとらえ、既習事項を生かしながら、自ら考え調べる時間を確保したい。そのことによって多様な考えをもたせ、互いのよさを生かす授業づくりをし、「何を知っているか」そして「知っていることを使い、どう学ぶか」という授業づくりを進める。

##### (2) 創意と活力に満ちた教育実践をする学校



地域の多様な教育資源の活用による地方創生が求められている。総合的な学習の時間を中心とし、学校での係活動、委員会活動、清掃活動、勤労生産的な活動や地域のよさや地域の方々の支援を得ながら、体験を通して子どもが喜び育つ教育実践を行う。特に、地域の人々や自然、文化にふれ、地域のよさに気付き、ふるさとを愛する心を育む教育活動の工夫をする。

### (3) 一人一人のよさを輝かせる学校

全ての子どもにはよさがある。子どもの成長を信じ育て、それを発揮する場が必要である。そのために、教職員は多面的、共感的、肯定的に見て「認める」「励ます」「誉める」ことで自己有用感さらには自尊感情を高め自信をもたせることで、努力する子どもを育てたい。その力を人々に役立てていくことで、子どもたちを将来にわたって幸せにしていきたい。

### (4) 家庭、地域と共に子どもを育てる学校

学校、家庭、地域が理解し合い、協力する人々の中で子どもたちは成長するのである。学校の願いを発信すると共に家庭や地域の思いや願いにも耳を傾けたい。

また、「教職員一人一人が全児童の担任」という考え方に立ち、教職員間の多様なコミュニケーションを円滑に行い、子どもの可能性やよさを語り、組織として子どもの指導に努める。

#### 《五所川原市教育基本目標》

ふるさとを愛し、ふるさとの文化を育む心豊かでたくましい人づくり

#### 《五所川原市教育指導の方針》

個を生かし生きる力と夢を育む魅力ある学校教育の推進

#### 《めざす子ども像》

知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな児童生徒

#### 《五所川原市学校教育の課題》

豊かな心の育成と確かな学力の向上⇔教職員の資質能力の向上

## 8 学校教育指導の方針

郷土に誇りをもち、多様性を尊重し、創造力豊かで、新しい時代を主体的に切り拓く児童生徒を育成するため、教育は人づくりという視点に立って、学校運営に創意工夫をこらし、個を生かし生きる力と夢を育む魅力ある学校教育の推進に努める。

## 9 学校教育指導の重点

### (1) 授業の充実

一人一人の子どもが、主体的・対話的で深い学びを通して、「確かな学力」を確実に身につけることができるよう、アクティブ・ラーニングの視点からの不断の授業改善に努める。

### (2) 生徒指導の充実

一人一人の子どもが、豊かな生活を送ることができるよう、全教職員が一致協力し

て、家庭、地域、関係機関等との連携及び学校間の連携を図りながら、心の結びつきを基調とした生徒指導の充実に努める。

(3) 道徳教育の充実

一人一人の子どもが、豊かな心をもつことができるよう、教育活動全体を通して、よりよく生きる基盤となる道徳性を養う道徳教育の充実に努める。

(4) 特別活動の充実

一人一人の子どもが、望ましい集団や体験の中で、協力してよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を身につけることができるよう特別活動の充実に努める。

(5) 体育・健康教育の充実

一人一人の子どもが、生涯にわたり自ら進んで運動に親しみ、健康・安全で活力ある生活を送ることができるよう、家庭や地域社会との連携を図りながら、心と体を鍛える体育・健康教育の充実に努める。

(6) 特別支援教育の充実

発達障害を含む障害のある子どもが、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するとともに、そのもてる力を最大限に発揮して自立や社会参加ができるよう、一人一人の教育ニーズを把握し、適切な指導及び必要な支援に努める。

(7) キャリア教育の推進

一人一人の子どもが、自らの生き方を考え、社会的・職業的な自立ができるよう、発達の段階に応じた指導を通して、将来を見つめるキャリア教育の推進に努める。

(8) 総合的な学習の時間の充実

一人一人の子どもが、多様なものの考え方や学び方を身につけ、よりよく問題を解決することができるよう、探究的、協同的に学ぶ学習を進め、総合的な学習の時間の充実に努める。

(9) 情報化に対応する教育の推進

一人一人の子どもが、必要に応じて情報を選択し、適切に活用する能力を身につけることができるよう、情報モラルに関わる指導の充実に努めながら、情報教育の推進に努める。

(10) 国際化に対応する教育の推進

一人一人の子どもが、我が国や諸外国の文化や伝統について理解を深めることができるよう、国際理解教育の推進に努める。

(11) 環境教育の推進

一人一人の子どもが、環境と人間の関わりについて関心と理解を深め、環境に対する豊かな感受性を養うことができるよう、環境教育の推進に努める。

(12) 研修の充実

教職員として資質能力を高め、自校の教育課題を解決するために、組織的、主体的、実質的な研修・研究の充実に努める。

# 学 校 経 営

## 「子どもたちの育ちが地域に誇れる学校」

～【共育】学んでよかった、学ばせてよかった、わが地域の学校～

### 1 経営基本方針

一人一人の子どもの可能性を信じ引き出し、知（確かな学力）・徳（豊かな心）・体（健やかな体）の調和のとれた人間性豊かな子どもの育成を目指す。「教育は人づくり」という視点に立ち、職員一人一人のよさを生かしながら、積極的で創造的な教育実践に努め、子どもが楽しいと感じる学校、教職員が共に働くことの喜びや働きがいを感じることできる学校づくりに努める。

### 2 経営の方針

#### （1）授業を大切にす学校

子どもたちの学校生活の大半は教科の授業であり、教師もまた授業の中で子どもを育てているのである。したがって、教師として資質の向上こそ私たちが求められていることである。子ども一人一人のよさを大切に、思いや願いを生かして「意欲的に考えたり、豊かに創造したりしながら、共に学び解決する」授業づくりを目指していきたい。そのためには、子どもたちの実態をとらえ、既習事項を生かしながら、自ら考え調べる時間を確保したい。そのことによって多様な考えをもたせ、互いの考えを生ず授業づくりをし、分かった、できた、身についたと子どもたちが言える授業づくりを進める。

#### （2）創意と活力に満ちた教育実践をする学校

他者や社会とつながる力を育むキャリア教育の推進による人材育成が求められている。総合的な学習の時間を中心とし、学校での係活動、委員会活動、清掃活動、勤労生産的な活動や地域のよさや地域の方々からの支援を得ながら、体験を通して子どもが喜び育つ教育実践を行う。特に、地域の人々や自然、文化にふれ、地域のよさに気づき、ふるさとを愛する心を育む教育活動の工夫する。

#### （3）一人一人のよさを輝かせる学校

全ての子どもにはよさがある。子どもの成長を信じ育て、それを発揮する場が必要である。そのために、教職員は多面的、共感的、肯定的に見て「認める」「誉める」「励ます」ことで自己有用感を高め自信をもたせ、より高い価値を目指して努力しているようとし、子どもたちを将来にわたって幸せにしていきたい。

#### （4）家庭、地域と共に子どもを育てる学校

学校、家庭、地域が理解し合い、協力する人々の中で子どもたちは成長するのである。学校の願いを発信する共に家庭や地域の思いや願いにも耳を傾けたい。

また、「教職員一人一人が全児童の担任」という考え方に立ち、教職員間の多様なコミュニケーションを円滑に行い、子どもの可能性やよさを語り、組織として子どもの指導に努める。

### 3 具体的な指針

#### (1) めざす子ども像

☆自他のよさに気づき、互いによさを発揮し合いながら学び合う子ども

- ・感性豊かで、表現力のある子
- ・素直で明るく、思いやりのある子
- ・努力し、自分の力をみんなの役に立てる子
- ・心身ともに健やかで、自分の健康や安全に心がける子

#### (2) めざす教師像

☆専門性やよさを発揮し合いながら協働する教職員

- ・一人一人の子どもを大切にし、その成長を信じる教師
- ・資質の向上のため、研修に努める教師
- ・コミュニケーションを円滑に行い、協働する教師
- ・児童、保護者と地域に信頼される教師

#### (3) めざす学校像

☆学校・保護者・地域住民が協働する学校

- ・教職員、保護者、地域が共に子どもを育てる学校
- ・子どもたちの「いのち」を大切にする学校
- ・生き生きと活動し、活気あふれる学校
- ・環境が整備され、美しい学校

### 4 学校課題

確かな学力 豊かな人間性 たくましく生きるための健康・体力

### 5 教育目標

- ・進んで学習する子
- ・思いやりのある子
- ・たくましい子

### 6 努力目標

- ・自分で考え、進んで表現する子になろう
- ・自分も友達も大切にする子になろう
- ・心も体も進んできたえる子になろう